

いてはどういう風にお考えですか。

**大使** 近年、日本からカナダへ行く観光客の数は目ざましく増えてきました。

カナダから日本に来る観光客も増えていきます。今度来日する前にビクトリア（ブリティッシュ・コロンビア州の首都）にあるブッチャーズ・ガーデンに行きましたが、そこでは英語と日本語の両方が通用していました。パンフのみやげ品店やレストランでもそうですよ。日本からのお客さんは、年間十六万人にものぼっています。お互いの国を訪問することによって、わたしたちは相手の国や国民について理解を深め、互いに重要な関係にあることを認識します。ですから、国民同士の間にはもともと増えていいと思いますね。

また、大使館としては、マスコミを通じて、カナダをもっとよく理解してもらうようにしたいと思います。カナダのあるがままの姿を知ってもらうのは、とても大事ですからね。

**武田** 大使はこれまで本庁はもちろん世界各地に赴任されたわけですが、日本とは以前に何かかわりをお持ちでしたか。

**大使** 私は政府でエネルギー、穀物、金融、先進国首脳会議（サミット）などに関する背景説明文書の作成などを担当しましたので、そういう問題を通じて日本と関係がありましたね。小麦のことで来日したことがありますし、今年の六月にもラムリー貿易担当国務大臣に同行して来日しております。

**武田** 最後にご家族や趣味についてうかがいたいのですが……。

### ■ 楽しみな日本体験

**大使** 私の妻はもともと栄養士で、料理が大好きです。日本料理はとても洗練されていますし、ほかの国の料理とはずいぶん違いますので、これから非常に楽しみにしています。また妻も私も読書が好きで、いろいろな国に住むうちに特に歴史に興味をもつようになりました。現在のいろいろなできごとが過去からどういふふうに形成されてきたのか、それを知るのには非常に面白いですよ。日本の歴史に関する本も何冊か読みましたが、興味つきないですね。特に日本が、明治維新後短期間に銀行、資本制度を整備したのには感心しました。ただ、日本語が読めないのが残念です。これまで赴任した国では、ポルトガル語、ギリシャ語などその地の言葉を覚えてきましたので、東京在任中に日本語ができれば、初めて赴任先の言葉が分らないということになります。趣味としては、あと水泳やボート、釣り、クロス・カントリー・スキー、庭の手入れなどですね。これまで私が赴任した中で、日本ほど洗練された国はありません。日本にいること自体が私や妻にとって全く新しい体験ですので、これから、いろいろ勉強していけるのが楽しみです。日本はある意味で将来を先取りしていますので、その点でも日本に赴任できてよかたと思います。

日本の料理や歴史にとっても興味……

## マルタ夫人の横顔

「本物のコロンビア産コーヒーの産地メデリンが私の故郷です。兄弟姉妹は全部で十四人、私は十番目」というマルタ夫人は、南米コロンビアの出身。高校を卒業してカナダのオンタリオ州ロンドンにあるウェスタン・オンタリオ大学に留学していたとき、同じ大学で政治経済学を勉強していたステイアズ氏に出会ったという。

一緒に卒業した翌年に結婚、三人の子供がいる。二十八才になる長男コーネル氏は、経営学を専攻して現在首都オタワにある貿易会社に勤務。長女のサラさんは、心理学を専攻、その後結婚して一児の母親である。もう一人の息子グレゴリー君は、現在大学二年生で、専攻はやはり経営学。三人とも、大学は両親と同じ



マルタ夫人

夫人は、大学で栄養学を勉強し、今でも料理が大好き。これまで夫君とともにニューヨーク、シンガポール、イスラエル、ギリシャ、ブラジルなどに滞在している間に料理の本を集め、それが百五十冊ほどになった。滞在先では、その土地の料理を好んで食べた。

「日本に来てから日本料理をよく食べていますが、主人も私もとても好きです。二人とも、どちらかといえば肉より魚や野菜が好きなので、日本料理は非常に気に入っています。日本料理の本も早く揃えて、勉強したい」と夫人は目を輝やかせる。いかにも気さくな感じだ。

マルタ夫人のもう一つの趣味は読書。これまでの任地では、早速言葉を覚えて、その地の新聞、雑誌、本、それに「看板でも何でも」読むのが楽しみだった。とにかく読むのが好きなのだ。

「日本語が読めないのが残念です。早く読めるように、これから一生懸命勉強します」

中でも好きなのは歴史。できればどこかの大学で日本史の講義を受けたい。

「日本はとても素晴らしい文化をもち、また豊かな歴史をもっているのです。日本についていろいろ勉強できるのが大変楽しみです。日本料理を習い、習字も勉強したい……」マルタ夫人は意欲満々だ。

ウェスタン・オンタリオ大学である。今年の冬、子供たちが訪ねてくる予定で、それが待ち遠しい。